

せきね 知っ得! 通信

12
December
2012

せきね FP 社会保険労務士事務所

〒947-0028 小千谷市城内 2-4-26 TEL0258-83-3048 FAX0258-83-3049

メール sekinekyrs@mountain.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.office-sekine.com>

発行: 2012年12月

(株)ベースボール・マガジン社から 12 月発売の「熱中! 野球部」という雑誌 (もちろん全国版) に地元小千谷市の千田中学校野球部が掲載されていました。今年、千田中野球部は新潟県で優勝し、北信越大会でも準決勝まで進出。私たちを勇気づけた彼らの快進撃の秘密は何だったのでしょうか?

入学当初から「全国制覇が目標」

チームの中心となった現在の 3 年生たちは、小学校時代の大会で活躍してこともあり、最初から意識が高かった。入学当初の自己紹介では、控えめな目標を口にする上級生をよそに、ハッキリ「全国制覇が目標」と宣言。



現在、小学生のとき活躍した野球少年は、高校野球を見据えてか、中学校の軟式野球部に入部せず、硬式野球のシニアリーグチームに入る子が少なくありません。そのため、小学校区で強豪でも、その中学校が強いとは限らないのです。千田中の 3 年生は、選手が分散せず学校の野球部にみんなが入ったという点でも、団結力があつたのでしょうか。

普段の生活から妥協しない

意識の高さは、練習態度だけでなく普段の生活にも表れていました。例えば、全校朝会。下腹に力を入れて背筋を伸ばして聞くことで「体幹強化」、まっすぐに視線を保つことは「集中力を養う訓練」ととらえ、さらに、教室での授業時間にも野球が上手くなるヒントは沢山あると考えた。

行動のすべてが野球に直結する…「野球以外を大事にする」という松田監督の教えは、野球部の伝統になりつつあるそう。

自主的に練習量を増やす

試合で勝つために徹底して取り組んだのが、下半身強化。その一環として、毎朝約 80m の廊下のぞうきん掛けダッシュを日課にしていた。「1 試合 アイニングを想定して 7 往復」が監督からのノルマだったが、いつしか選手たちは自分たちの判断でその数を増やしていった。最終的には 10 往復以上行い、ぞうきん掛けの合間に腕立てや腹筋も入れていたとのこと。

やらされるのではなく、自分たちで考えて動くという姿勢に感動!!
引退した 3 年生は、今も自主的に毎朝ぞうきん掛けダッシュを行っているそうです。



「野球を学ぶ」のではなく「野球で学ぶ」

3 年生キャプテンの安部君は、松田監督から教わった「野球を学ぶ」のではなく「野球で学ぶ」という言葉を大事にしていると言っています。見習うべきところが沢山あります。

仕事で学び、出逢いで学び、家庭で学び、趣味で学び…人として成長していきたいものです。

参考になれば幸いです。

平成25年度から、節目年齢のうち「58歳」が「59歳」に変わります。

35歳、45歳及び59歳の方 → 「封書」の「ねんきん定期便」が送られます。



「封書」の「ねんきん定期便」には、年金加入記録の確認方法を詳しく記載したパンフレットや、年金加入記録に「もれ」や「誤り」があった場合に提出する「年金加入記録 回答票」が同封されています。

(1) 昭和29年4月2日～昭和30年4月1日生まれの方

平成25年度中に「59歳」になる方は、平成24年度中の誕生月（58歳時）にすでに「封書」の「ねんきん定期便」が送られているため、平成25年中の誕生月には「封書」ではなく、「ハガキ」の「ねんきん定期便」が送られます。

(2) 昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生まれの方

平成26年度中に「59歳」になる方については、平成26年度中の誕生月に「封書」の「ねんきん定期便」が送られます。

トピックス

消えた年金記録 2,222万件 未解決のまま幕引き？

持ち主不明の年金記録約5100万件のうち解明されているのは、約**6割**。

残りの4割(2,222万件)はなお持ち主が分かりません。 今回の総選挙ではほとんど忘れ去られており、未解決のまま幕引きとなる可能性もあります。



消えた年金問題は、年金保険料を納めた記録が旧社会保険庁にしっかりと保存・管理されずに起きたものです。本来よりも少ない額が支給されている年金の支給漏れも疑われています。

残りの4割を解明するのはそう簡単ではなく、持ち主の手がかりさえつかめていない記録が962万件もあるそうです。

集中処理期間は2013年で終了するため、その後は『ねんきんネット』で自主的に対応するよう呼びかける予定です。

年金記録解明にかけた費用は2009年～2013年の合計で3,569億円。

例えば紙の記録台帳とコンピューター上の記録を突き合わせるのに1人あたり約2,200円かかっており、60歳未満の加入者は記録が解明されても戻る年金は平均で年約4,000円だそうです。費用対効果の面から批判的な声があがるのも無理はありません。

自分や家族の年金記録をもう一度しっかり見直しましょう。

◆フェイスブックのユーザー数

日本国内のフェイスブックユーザーは推定 1,677 万人（セレージャテクノロジーの 12 月 6 日付け発表）といわれています。アジア圏内で 5 番目にユーザー数が多い国となっています。（1 位インド、2 位インドネシア、3 位フィリピン、4 位タイ）。



◆フェイスブックユーザーが悩む「ソーハラ」とは？

企業の採用活動においても活用されることが増えてきたフェイスブックですが、利用マナーをめぐる問題も増えてきています。

「ソーハラ」＝「ソーシャルメディア・ハラスメント」の略称で、ソーシャルメディア上におけるハラスメント行為を指しますが、主に、上司の部下に対する「『友達』承認」の強要や、上司の書込みに対する「いいね！」反応の強要などを指すものとして使われています。

ソーハラ被害にあったユーザーの中には「上司からの友達申請を承認したが、プライベートの友人とのやり取りまで知られるのがイヤでフェイスブックへの書込みをやめてしまった」という人もいます。加害者となっている人は、自身のハラスメント行為についての認識が低いようです。

◆こんなユーザーは嫌われる！

フェイスブックには、閲覧者が「いいね！」ボタンをクリックすると投稿者に自分が共感したことを伝えられる機能がありますが、記事を投稿する度に「いいね！」を押されると、「監視されているみたいだ」と感じる人が多いようです。

また、フェイスブック上での人脈拡大は「友達申請」と「承認」から始まりますが、若いビジネスパーソンの多くは、上司からの友達申請は好ましく思っていないようです。

さらに、フェイスブック上のプライベートな書込みについて、「あれどうなったの？」などと職場で話題にされることは嫌だと感じる人が多いようです。

上記のような行動が見られるユーザーは嫌われる傾向にあるようですから、すでにユーザーの方もこれから始める方も、節度を守って楽しむことが求められると言えるでしょう。

～ フェイスブックは個人情報宝库です。～

実名登録を基本にしているため膨大な個人情報がネット上でオープンになります。

（参考）以下のような個人情報が筒抜けになる恐れがあります。

- ・写真 ・趣味 ・誕生日 ・性別 ・生年月日 ・宗教 ・出身地 ・家族情報
- ・友達情報 ・出身大学と学歴、職場（勤務先名） ・思想 ・日頃の生活の質
- ・職場の環境と職業と地位から推察される年収・・・ほか、沢山。

色々な人が閲覧していることを忘れずにマナーを守って使いたいですね。

「職場の飲みニケーションは必要」は古い考え!?

●約6割が「職場の飲み会は必要」

「飲みニケーションは必要だ!」という考えも今や昔の話とも思われがちですが、まだまだ健在のようです。

『「仕事帰りの外飲み事情 2012」ビジネスパーソン意識調査』(株式会社インテージ 2012年8月実施)の結果が発表されましたが、この調査によれば、**約6割の人が「職場の飲み会は必要」と思っている**ことが明らかになりました。



●仕事帰りの飲みの相手は誰?

①仕事帰りの外飲みの状況(職場以外の人との飲みも含む)

飲みに行く人・・・・・・・・・・67.1%

飲みに行っていない人・・・・32.9%

※ 飲みに行く人では 男性20代 81.0%、女性20代 75.0%
飲みに行っていない人は特に女性30~50代の割合が高い。

②仕事帰りに飲む相手

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1. 職場の同僚(同性、異性問わず)..... | 56.1% |
| 2. 職場の同僚(同性のみ)..... | 33.3% |
| 3. 職場の上司..... | 32.6% |

やはり、仕事の延長で職場の人と飲みに行く人が多いようです。

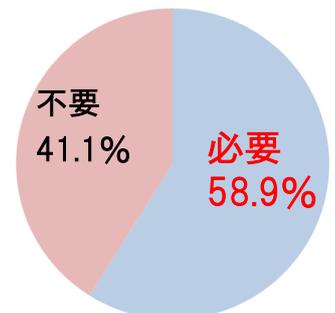
●職場の飲み会は必要 or 不要?

職場の飲み会について約6割(58.9%)の人が「必要だと思う」と回答。男性のすべての年代と女性の20代では6割以上が「必要」と回答しているのに対し、女性の30~50代では5割以上の人々が「必要だと思わない」と回答しています。家事や育児で忙しく、時間が取れない様子が伺えます。

職場のコミュニケーションを図る1つの方法として「職場の飲み会」は有効なようですが、20代男女の3割以上は「上司からの誘いを断ることができない」と思っている状況もまた、あるようです。

なかなか難しい問題ですが、飲み会で相手に親しみが増したり、仕事上の情報交換が活発になったりするのには事実ですよね。

お酒が飲めない人や事情で飲まない人、一次会で帰りたい人も楽しめる「飲み会」だとイイですね。



職場の飲み会について

せきねの「気になる」を勝手に情報発信コーナー

書籍

永遠の^{ゼロ}0

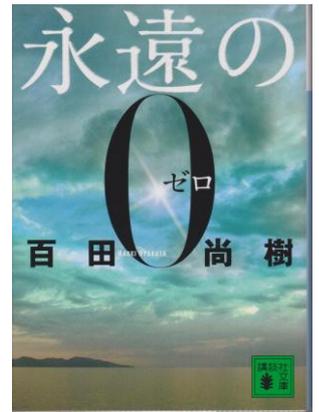
百田 尚樹

たまたま目にした雑誌で推薦されていた本です。

放送作家の著者のデビュー作。タイトルの0（ゼロ）とは、太平洋戦争でその名を轟かせた名戦闘機「零戦」のこと。

終戦から60年目の夏、26歳の若者が、特攻隊で命を落とした祖父について調べていくストーリー。「妻や娘のために絶対に生きて戻る」と誰よりも命を惜しんでいた祖父は天才的な零戦パイロットだった。祖父は臆病者だったのか？ 特攻隊は洗脳されたテロリストなのか？ 祖父を知る人との出会いを重ね、調査が進むうちに真実が明らかになる。

ストーリーの秀逸さはもちろん、この本は戦争の経緯やその実態を教えてください。知識の浅い私は、日本のエリート大本営の「若者の命の軽視」を改めて知り、絶句でした。戦争を知らない世代全員必読の一冊です。



書籍

置かれた場所で咲きなさい

渡辺 和子

題名からの印象の通り、85歳の著者の言葉は深い信仰心に根差し、わかりやすく優しく愛に満ちています。特に印象に残ったのは、次の2つ。
●「何も出来なくても、ただ笑顔でいよう」…相手の出方に左右されることなく、自分の人生を笑顔で生きるという決意・主体性の表れの微笑み。不機嫌は立派な環境破壊である。・・・その通りですね。

●「時間の使い方は、そのままいのちの使い方になる」…本の中では、「待つことができる自分」について書かれていますが、この言葉は別の意味で心に響きました。いのちの使い方だと思えば、私の時間の使い方も変わりそうです。

本の中で少し触れているので調べてみると、著者の父は二・二六事件で殺害された渡辺錠太郎でした。人生の辛苦を味わった人の言葉だから、余計に心に染みるのかもしれませんが。



十日町 妻有そば 株式会社玉垣製麺所

ある日の昼食、事務所でそばを食べました。でも出前を取ったものではありません。新潟県民心のふるさと「妻有そば」をゆでて、「へぎ」に手振りで盛り付けたのです。ちなみに、この「へぎ」は株式会社玉垣製麺所様の会社設立60周年記念でいただいたもの。

下手くそな「手振り」でも、「へぎ」に盛って食べるといつもとまた違う雰囲気、さらに美味しく感じます。家で食べたときも、子供たちに大ウケでした。

そばを食べると、一緒にお酒が飲みたくなってしまうのは、私だけでしょうか？ この日は、午後の業務のため当然我慢しましたが、年越しそばはゆっくり飲みながら味わえたらいいなと思っています。



あとがき◆当事務所より

今年も残すところあとわずか…忙しい日々をお過ごしのことと思います。2012年に心残りがないよう、仕事納めの日までパワー全開で行きましょう。寒い日が続いていますので、体調に気をつけて。そして、良い年をお迎えください！